

## 災害時リハビリ支援体制構築に向けた論点について③（慢性期・中長期）

### 支援体制イメージ図(たたき台)

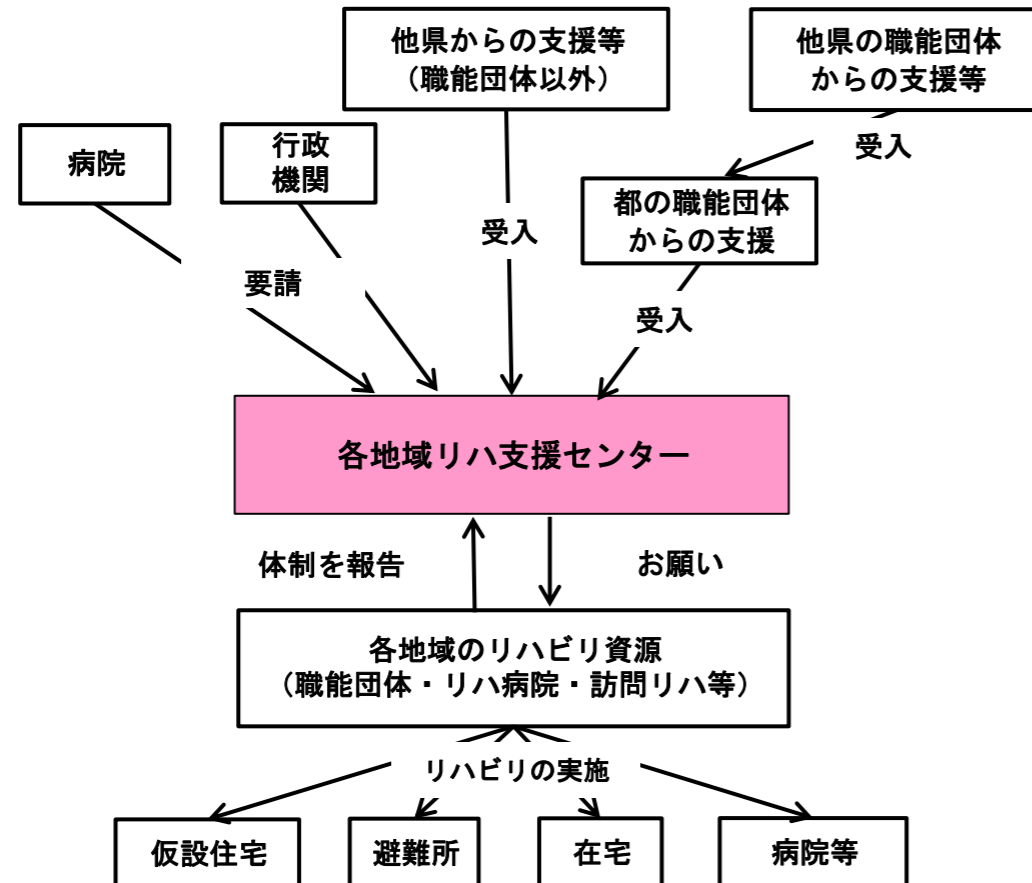
関係機関と連携し、地域リハ支援センターを中心にリハ提供する体制を確保する。

《時期の説明》

- ・慢性期（1か月～3か月）
- ・中長期（3か月以降）

| 区分             | 慢性期              | 中長期 |
|----------------|------------------|-----|
| 地域<br>防災<br>計画 | 被害情報の収集・集約       | →   |
|                | 東京DMATの出場        |     |
|                | 緊急医療救護所の運営       |     |
|                | 傷病者等の被災地域外への搬送   |     |
|                | 都医療救護班等の被災地域への派遣 | →   |
|                | 他県のDMATによる病院支援   | →   |
|                | 医療救護所の運営         | →   |
|                | 医薬品の供給           | →   |
|                | 他県医療救護班の受入れ      | →   |
|                | 避難者の定点・巡回診療      | →   |

リハビリ提供体制



### 地域リハ支援センターの主な役割(案)

- 病院や行政機関からのリハビリ支援の要請に対し地域のリハビリ資源をマッチング
  - 外部団体からの支援の受入体制の確保及び連絡調整
  - 主に支援終了に向けて外部団体から地域のリハビリ資源への段階的な引継ぎの調整
- など

### 当面の論点

- 支援終了に向けて、外部団体の支援内容を地元の限られたリハビリ資源にどのように移行すればよいか。
- 災害時リハビリ支援終了の時期の目途をどのように立てるのか。